



愛知長久手ロータリークラブ

2011~2012

WEEKLY



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

例会日=毎週火曜日 PM12:30 例会場=長久手市まちづくりセンター

会長 丹羽司一 幹事 山田文明 会報 田中信子

Email: a.nagakuterc@aurora.ocn.ne.jp

事務局

TEL:0561-64-5446

FAX:0561-64-5459



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために



本日 第 454 回 例会 2012 年 4 月 24 日 (火 曜 日) 第 447 号

<本日のプログラム> Today's Program

点鐘

<ロータリーソング> 「日も風も星も」

演題 : 会社とロータリーの結びつき

講師 : 富田盛義さん

前 回 第 453 回 例会 2012 年 4 月 17 日 (火 曜 日) 記 録

<ロータリーソング> 「それでこそロータリー」

総合司会 加藤 猛親睦活動委員

<出席報告>

会員総数 22名 (免除会員2名)

出席者 14名 出席率 70%

前々回補正出席率 95.4%



味噌カツ

シーフードサラダ

鯉塩焼き

刺し身

鮎井

<来訪者>

<会長挨拶>

愛知長久手ロータリークラブ 安田茂樹会長エレクト



皆さんこんにちは。本日は丹羽会長所用のため代わりに挨拶させていただきました。4月15日に開催されました[2012~2013年度のための地区協議会]にご出席された各委員会委員長さん方は一日お疲れ様でした。後程卓話の時間にそれぞれ委員会の次年度方針の報告よろしくお願いします。

次年度RIテーマ

「Peace Through Service 奉仕を通じて 平和を」

地区テーマ

～ Touch the Rotary ～ふれあい、思いやり、そして握手

ロータリーの綱領 Object of Rotary

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある。

1. 奉仕の機会として知り合いを広めること。
2. 事業及び専門職務の道徳的水準を高めること。
あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。
3. ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に、常に奉仕の理想を適用すること。
4. 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門業務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

<委員会報告>

◆ニコボックス委員会

加藤 猛親睦活動委員

- ・本日もよろしくお願いします。
- ・ゴルフコンペ、地区協議会連日お疲れ様でした。今日は暑さを感じる日差しですが皆様体調を崩さないようお気を付けてください。
- ・本日もよろしく。
- ・本日もよろしくお願いします。ゴルフドタキャンすみませんでした。
- ・Golfコンペ、みな様ご苦勞様でした。地区協議会ご苦勞様です。皆さん全員参加で出席できるとすてきですね。
- ・本日もよろしくお願い致します。昨日の地区協議会皆様ご苦勞様でございました。
- ・先日はゴルフ楽しゅうございました。本日もよろしくお願い致します。
- ・本日はよろしくお願い致します。

安田 茂樹
山田 文明

大島 昭夫
加藤 猛
日野 典子

松原 正敏
宮下智香子
小谷 恒夫

“ 春が来た 勝ってカブトの緒をしめて 若いギャルズに 濃い恋のぼり ”

(敬称略)

<幹事報告>

山田 文明幹事

- 1) ガバナー事務所(財団担当、米山/青少年交換担当含)、ガバナーエレクト事務所のゴールデンウィーク休暇のお知らせ。2事務所とも、2012年4月28日(土)～2012年5月6日(日)の間お休みです。その間に何かございましたら、メールにてご連絡ください。
当クラブはそれに準じますのでよろしくお願い致します。

<次年度幹事報告>

小谷恒夫副幹事

- 1) ホームページ上での出・欠席について
・クラブから出席表を一斉送信致しますのでアドレス表を回覧いたします。ご確認をお願いします。

<地区協議会報告>

第1分科会 テーマ:奉仕を通じて平和を

安田 茂樹会長

第1分科会はクラブ運営部門の研修会です。そこでは色々な話がでましたが、最近では未来委員会等今まで聞いたことのないような新しい委員会が増えています。今は委員会が沢山あるので少なくして、できるだけ人を集中して、特に少人数クラブに関しては負担がかからないようにしたいという意見。それぞれ委員会をたくさん作り多くの活動をしたいという意見があり、立場立場による異なる意見が出ました。愛知長久手RCは少人数なので出来れば、IT・雑誌・広報などを一つにまとめる等負担を少なくしたいと思っています。5月からクラブ協議会も始まりますので皆さんの意見を聞きながら話をまとめていきたいと思っています。大雑把な報告でしたが、第一分科会のテーマに沿って来季のクラブ運営をしていきたいと思っています。

第5分科会 テーマ:国際理解を深め、奉仕を通じて平和を実現させましょう。

日野 典子委員長

第5分科会は国際奉仕関連部門です。2760地区での活動報告がありました。ラオスに学校を寄付していますが学校が着実に使用されているかどうかを確認するとともに、今までのWCSがなくなり識字率向上委員会が代わりに発足いたしました。子供たちに読み書き勉強を教えるにあたっての委員会です。識字率向上のための教師を育成するために発展途上国に寄付をし、作った学校の中で先生が活躍できる場を作り生徒を着実に育てていくところまでの奉仕を始めているという報告がありました。それについて私はラオスに学校を贈呈するときに行き参りました。子供たちはすごく歓迎してくれました。多分その後はロータリーの人たちは見に行っていないと思い憂慮していましたが、今回識字率向上委員会ができ学校の使用目的にも良い方向に向かっていくと個人的に思いました。10年前ぐらいからタイ・チェンマイに愛知奨学基金を恵まれない子供たちの為に贈呈していますが、チェンマイの発展に伴い今後の活用方法も検討されているとの議題が出ていました。国際奉仕活動の過渡期に来ていると思われませんが、是非多くのロータリアンの方々に、海外でどのような奉仕活動、お金の使われ方を現地に出向いてみるのが大切だとすごく思いましたので、今後機会があればご参加お願いしたいと思います。これからも国際奉仕に携わっていく以上そういったことを広めたいと思います。ありがとうございました。

第9分科会 テーマ:入りては学び、出でては奉仕

松原 正敏副幹事

第9分科会は研修部門です。会場では講師の方と一問一答でRIのワークショップ方式とのことでした。3年間この方式で研修を取組むそうです。今回の広い会場では声が聞き取りにく、形の取り入れ方は分かりますが会議としての形態がまとまっていない感じがしました。今後の会議はワークショップ方式で展開されますので、クラブでもこの方式を活用して例会、新人研修、委員会などで勉強の機会も増えます。夜間の親睦も良いですが、全員で意見を集約しながら、共有の情報を常に持つておくと、今後は良いのかなと思いました。

第9分科会

山田 文明会長エレクト

私は会長エレクト・研修委員長として追加させていただきます。入会3年未満の新人研修について当クラブは最近やっておりませんが、クラブとしては冊子「ロータリーとは…」は常に例会に持参していただくこと、主に紹介者の方に研修していただく、私研修委員長として何かあればいつでもご質問ください。次年度は10月に地区大会が開催されますのでに参加していただき地区の研修を受けることもできます。ロータリーは単年度で変わっていきますので、いずれ委員長、会長・幹事など役職のチャンスが必ず廻ってきます。その覚悟をもってロータリー活動をしていただければと思います。ロータリーの一番良いところは楽しいクラブするために単年度での活動としている。それはその年度の会長、委員長さんの方針で、それぞれ毎年の変化、人柄などを感じながらクラブ運営をしていけるという事です。ロータリーは人の出会いを楽しむことで、会員を増やすことよりも人の触れ合いを大事にすることがロータリーの原点だと改めて感じました。

会員増強セミナー

大島 昭夫委員長

地区協議会終了後15:00～開催されました。小山慎介会員増強委員長よりセミナー主旨案内後、各分区分ごとにグループ討議が行われました。当クラブの報告として

- 1) 「会員推薦書」を作成し、会員一人ひとりに渡し増強意識をより高める。
- 2) 例会の食事会にお誘いし、名刺交換、例会の雰囲気を感じていただく。
- 3) 入会候補者の方の職業又は、体験による卓話をお願いする。
- 4) 夜間親睦例会、ゴルフコンペを開催してより親睦を図り退会防止に努めている。

地区の会員増強の大きなテーマは女性会員の増員としていて、当クラブでは

現在4名いる女性会員の方にお友達等積極的に紹介していただくよう働きかけをしている。

ロータリー財団委員会より新地区補助金の使用についてクラブの覚書(MOU)同意書承認とロータリーカードの作成をお願いして報告とします。



★ ハイライトよねやま 145号 ★ 2012年4月13日発行

:: 今月のトピックス ::

1. 寄付金速報 — 2011-12年度も残り3カ月 —
2. ホームカミング学友が各地区大会に登場！
3. 公益財団法人移行後、初の評議員会開催
4. 米山学友が母国で受賞 — ネパール出身のタパさん —

米山学友のジギャン・クマル・タパさん(ネパール/2008-09/横浜たまRC)が、日本におけるネパールの認知度およびイメージ向上に寄与した功績が評価され、NATTA(ネパール観光協会)からBhaskar Award(輝かしい賞)を受賞しました。1月6日の受賞式では、ビスタ観光大臣から銅板に刻まれた表彰状を授与され、翌日にはヤダブ大統領に謁見しました。タパさんは、受賞の喜びをお世話になった人々と分かち合いたいと、3月20日、同じく米山学友の妻、エソダ・バスネットさん(2011-12/横浜戸塚RC)とともに、「感謝の会」を開催。駐日ネパール大使夫妻のほか、タパさん・エソダさんの世話クラブ会員、第2590地区米山奨学委員長の倉知恒久氏など、夫妻に縁のある113人がお祝いにかけつけました。タパさんは、2000年に来日して以来、多くの人々に支えられてきたことへの感謝を述べ、今後もさらに邁進していきたいと、決意を新たにしました。この続き、その他の記事は、ぜひPDF版をご覧ください。

5月1日(火)	5月8日(火)	5月15日(火)	5月22日(火)
規定休日	クラブ協議会	クラブフォーラム	クラブフォーラム